

3園館の連携について

飼育展示担当 主席主査 宇佐美 均

2013年9月1日、山形県の鶴岡市立加茂水族館、秋田県の男鹿水族館GAO、秋田市大森山動物園の各園館長により、3園館連携協定書への署名式が行われました。



左から 村上加茂水族館長、小松大森山動物園長、千葉男鹿水族館長

これは、東北の日本海に面した地域にある動物展示施設が連携し、各園館の利用促進と地域の活性化に寄与することを目的に行われたものです。具体的には、それぞれの園館に専用のPRコーナーを設けたりホームページを活用した情報発信、スタンプラリーなどのイベントも実施しました。

2014年には、加茂水族館のリニューアルオープン、男鹿水族館GAOの10周年記念、大森山動物園のビジターセンターオープンなど、各園館で予定されている記念行事に参加し、3園館の見どころや特徴をPRするとともに、周辺地域の魅力情報の発信も行います。また、水族館で動物園を体験できる「お出かけ動物園」などのイベントも計画し、相互協力により積極的に取り組むこととしています。

できる事から少しずつではありますが、主役である動物たちと東北日本海の無限大の魅力を少しでも多く皆様に伝えていきたいと思えます。

「どうぶつ学ぼーど」について

飼育展示担当 風登 百愛

皆さんは園内にある飼育員の手書きの情報板をご覧になったことがありますか？

実は、その情報板が今年の4月から一部新しくなりました。今日はその新しくなった情報板について紹介したいと思います。



園内にはいろいろな動物についての解説板や情報板がありますが、動物についての学術的な解説板は詳しく書かれているものの、内容がやや難しいこともあり、新たな情報板を作ることになりました。その内容としては動物の特徴、体のしくみ、生態

などで「この動物のここを知って欲しい!」という情報を盛り込み、動物に関して楽しく学んでもらえるような内容にすることを目指して、各担当が知恵を絞って制作しました。基本は全て手書きで、この動物のここを見て欲しい、知って欲しいという熱い飼育担当者の思いが込められています。

今年はゾウ、キリン、チンパンジーなど、それぞれの動物の展示場の15カ所に設置しました。3年計画で園内ほぼ全ての動物について作成予定ですので、動物園にお越しの際は是非、「どうぶつ学ぼーど」をチェックしてみてください!

7月20日(土)

開園40周年を記念し、株式会社秋田銀行様からオモリンの幟40本が寄贈され、贈呈式が行われました。また、イメージキャラクターの「オモリン」が初めて登場しました。



7月27日(土)・28日(日)

第36回親子のふれあい写生大会を開催しました。提出された496点のうち106点の作品が入賞し、入賞者は9月1日の開園40周年を祝う会で表彰されました。



8月1日(木)・2日(金)

第39回サマースクールを実施し、2日間で56名の方が1日飼育員として飼育作業を行いました。



8月14日(水)~17日(土)

夏の人気イベント「夜の動物園」を開催しました。開催期間中は天気にも恵まれ約1万5千人のお客さまにご来園いただきました。



イベントレポート

8月31日(土)

開園40周年を祝う会前日前夜祭を開催しました。雨のため中止となったイベントもありましたが、会場の大森山公園では、動物ふれあいイベントなどが行われた他、メインイベントとなる「森と動物の音楽祭」も開催され、900名の方が来場しました。



9月1日(日)

「秋田市大森山動物園開園40周年を祝う会」が大森山動物園ピクニック広場で開催されました。式典ではボランティア活動団体などに感謝状が贈呈された他、市内の小学生が書いた「大森山動物園の夢と未来を語る」標語と作文の発表も行われました。また、市内の小学生による歌や踊りが披露され、来場した約870名の方々に開園40周年をお祝いしていただきました。式典終了後も会場では音楽ライブやショーなどが行われ、1日を通して開園40周年を祝うイベントで盛り上がりました。

10月5日(土)・6日(日)

秋の恒例イベント「秋の動物ふれあいフェスティバル」を開催しました。「食欲の秋・動物の餌、見て・ふれて・あげてみよう!」と題し、動物の「食」をテーマにしたイベントを行いました。



11月23日(土)

11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、夫婦限定のイベントを開催しました。14組の参加者は動物園内を周りながら夫婦水入らずのひと時を楽しんでいました。



12月1日(日)

2013年の通常開園最終日、動物とお客さまへの感謝を込めて「さよなら感謝祭」を開催しました。亡くなった動物を慰霊する「慰霊祭」では、浜田小学校の児童3名が動物たちの思い出を書いた作文を発表してくれました。他にも無料エサやり体験やもちつき大会など多くのイベントが行われ、開園40周年を締めくくるにふさわしい1日となりました。



12月4日(水)

開園40周年を盛り上げようと立ち上がった「秋田市大森山動物園開園40周年記念事業実行委員会」の解散式が行われました。実行委員会は8月31日と9月1日のイベント開催を中心に、開園40周年記念事業をサポートし盛り上げていただきました。

12月22日(日) 1月25日(土) 2月1日(土)

秋田市の中心市街地活性化に一役買うため昨年12月からスタートした「冬の移動動物園」を今シーズンも実施しました。12月22日には、クリスマス前ということもあり、トナカイとサンタクロースが登場。今年の干支(午)であるポニーにも来場者の人気が集まりました。



1月4日(土)~ 2月23日(日)の 土日祝日

冬の特別開園「雪の動物園」を開催しました。「動物のお散歩タイム」や冬ごもり中のツキノワグマの様子をモニターで観察できる雪の動物園ならではのイベントに加え、動物の名前を漢字で書く「書きZOOめ」やペンギンが来園者の希望をかなえるイベントも実施しました。



正面ゲートが新しくなって快適に!

ZOO ニュース



大屋根ビジターセンター(仮称) 2014年夏 完成予定!

現在改修工事をしている正面ゲートは、2014年夏にリニューアルします。休憩スペースが設けられ、休憩スペースを含む一部の施設は入園者以外の方も気軽に利用できるようになります。新しい大森山動物園の顔となる正面ゲートをお楽しみに。

